

佐久市佐久っと支援金事業 自己評価報告書

		評 価 日	4 年 3 月 31 日
団 体 名	ド根性 さくっこ事業 ～ 笑顔 SaKu 体験から学びへ ～		
事 業 名	S a K u K i d s 応援隊		
対象経費	570,584 円	支援金交付 対 象 経 費	501,984 円
支援金額	250,000 円		

事業の 目的・ 内容	目的 ＜事業の目的＞ 佐久地域の子ども達へ、地域の魅力を体験及び作業を通じ、年齢問を越えたコミュニ ティーの創出・ 休耕田畑を再生、命の大切さを伝える。 佐久の食文化を次世代へ伝える。
	内容 近隣の小学生・保育園園児には、水田養殖の水田の仕組み、小鮒を産卵⇒ふ化⇒幼魚⇒成 魚までの過程を実際五感で感じ、今学校等で学べ無い唯一無二の体験を行う。

事業の 活動実 績	令和3年4月1日公布決定通知
	4月4日 水田 畔整備 4月11日 水田 畔整備・土作り・たい肥散布 4月16日 第1回 佐久市水田ブナ養殖技術研修会 水産試験場 事業参加を地域小学校・保育園・幼稚園への依頼をお願いいたしましたが、 本年度はコロナウイルスの影響もあり、参加が厳しいとの返答であった。 4月18日 水田 畔整備・土作り・たい肥散布 4月25日 水田 畔整備・土作り・たい肥散布 5月2日 水田 産卵場所整備・ビニールハウス設置 5月3日 水田 産卵場所整備・水張・畔整備 5月4日 水田 産卵場所整備・水張・畔整備 5月5日 水田 産卵場所整備・水張・畔整備 5月10日 第2回 佐久市水田ブナ養殖技術研修会 現地水田 5月20日 第3回 佐久市水田ブナ養殖技術研修会 親ブナを水産試験場から購入 水田産卵場へ放流 水産試験場・現地水田 5月下旬より毎日小鮒への餌あげ、水量調整確認を行っております。 6月1日 小雀保育園水田どろんこ体験 小鮒孵化状況見学 7月15日 第4回 佐久市水田ブナ養殖技術研修会 8月8日 水田周辺除草作業、害鳥駆除設置実施 8月15日 水田周辺除草作業、害鳥駆除設置実施 8月14日 水田周辺除草作業、害鳥駆除設置実施 8月22日 水田周辺除草作業、害鳥駆除設置実施

事業の活動実績

8月25日 小雀保育園 害鳥駆除の為 園児作成のかかしを設置 小鮒生育状況見学
信濃毎日新聞社取材 佐久市民新聞取材
8月23から29日 小鮒水揚げ後に泥抜きを行う水槽の組立設置を行う
8月29日 小鮒水揚げを20名程度にて行う 泥抜き
佐久市民新聞取材
8月30日 小鮒水揚げを徐々に行う 泥抜き 第5回 佐久市水田ブナ養殖技術研修会
8月31日 小鮒水揚げを徐々に行う 泥抜き
9月1日 小鮒水揚げを徐々に行う 泥抜き
9月2日 小鮒水揚げを徐々に行う 泥抜き
9月3日 小鮒水揚げを徐々に行う 泥抜き
9月4日 小鮒水揚げを徐々に行う 泥抜き
9月5日 小鮒販売 子供たち中心に20Kgほど販売できました
佐久市民新聞取材・佐久ケーブルテレビ取材
9月4日 小鮒水揚げを徐々に行う 泥抜き
9月5日 小鮒水揚げを徐々に行う 泥抜き
9月6日 小鮒水揚げを徐々に行う 泥抜き
9月7日 小鮒水揚げを徐々に行う 泥抜き
9月8日 小鮒水揚げを徐々に行う 泥抜き
9月12日 小鮒販売 子供たち中心に20Kgほど販売できました
9月19日 水田害鳥駆除撤去・次年度に向けた水田整備
9月26日 水田害鳥駆除撤去・次年度に向けた水田整備
10月4日 水田整備実施
10月11日 水田整備実施
10月19日 水田整備実施
10月25日 水田整備実施
11月8日 水田整備・片付け
11月15日 水田整備・片付け
11月22日 水田整備・片付け

別紙参照

別紙参照

事業の成果・効果	2年目の事業となり、改めて小鮎の養殖への難しさを実感しております。しかし、まちづくり支援金のご支援を頂き少しずつ前進しています事に感謝申し上げます。 本年は、地元岩村田小学生や小雀保育園の児童、園児には大きく事業に参加頂き実りのある事業となりました。 小鮎の養殖について 佐久市農政課で令和3年度佐久市水田ブナ養殖技術研修会への参加をし小鮎の特性や水質・水温の温度管理の理解を深めました。 収穫方法も工夫をし昨年よりは水揚げ量を増やすことも出来ましたが、成長時期に一番必要は気温や日照不足により成長が著しく悪く生産量的には平均より減少だった旨をご報告いただきました。 地域皆様との関わりについて 岩村田小学校の児童へ産卵後の卵をお渡しし顕微鏡を使って卵の成長を学んで頂き、その後成長についても教室等にて育てて頂く事もでき今も児童が育てて頂いております。 小雀保育園園児の皆様には、現地にて水田の代かきから水田の雑草退治、成長の観察、害鳥対策では、かかし収穫後小鮎を甘露煮にして園児に食文化を深く体験して頂く事ができた事は大きな成果に繋がったと確信致しました。
----------	---

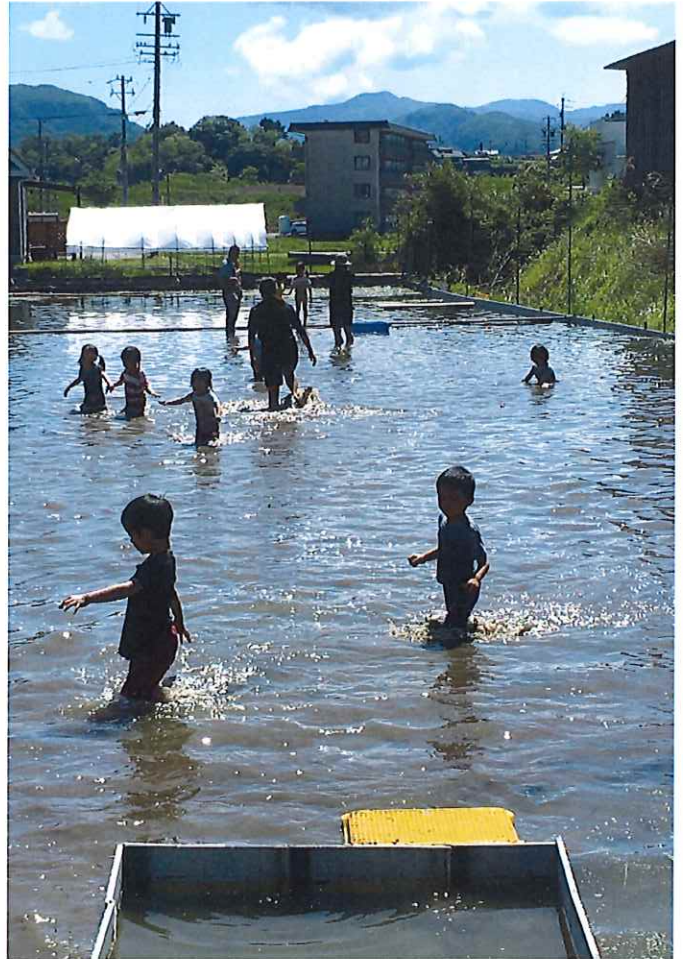
自己評価	事業は申請どおり実施できた	1 できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった 自己評価を記入 事業実施において、小学校児童、保育園園児の皆様の実体験を通じ大きく活動できた事を確信しております。又、本年度も事業に参加したいとの声を頂いており、事業に参加頂ける事となっております。
	事業の実施によって、期待した効果をあげることができた	1 できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった 自己評価を記入
	実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について	1 ほとんど同じ 2 多少の変更があった 3 大幅に変更している 主な理由（2、3と答えた場合のみ）
	その他、評価すべき点等	

※ 自己評価の欄は、番号に○を付けてください。評価は、客観的自己診断です。

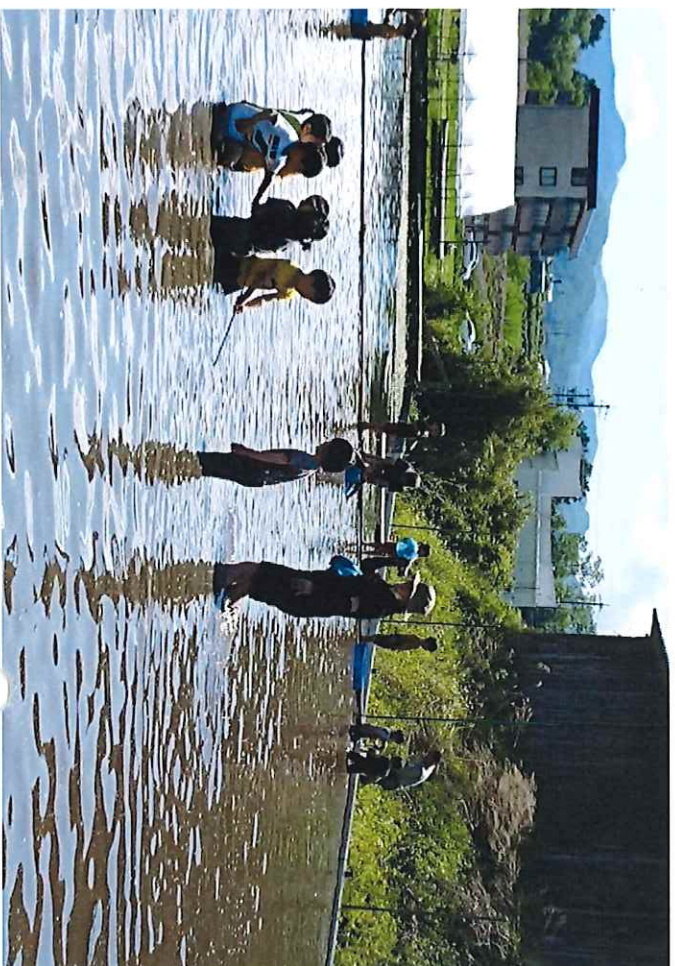
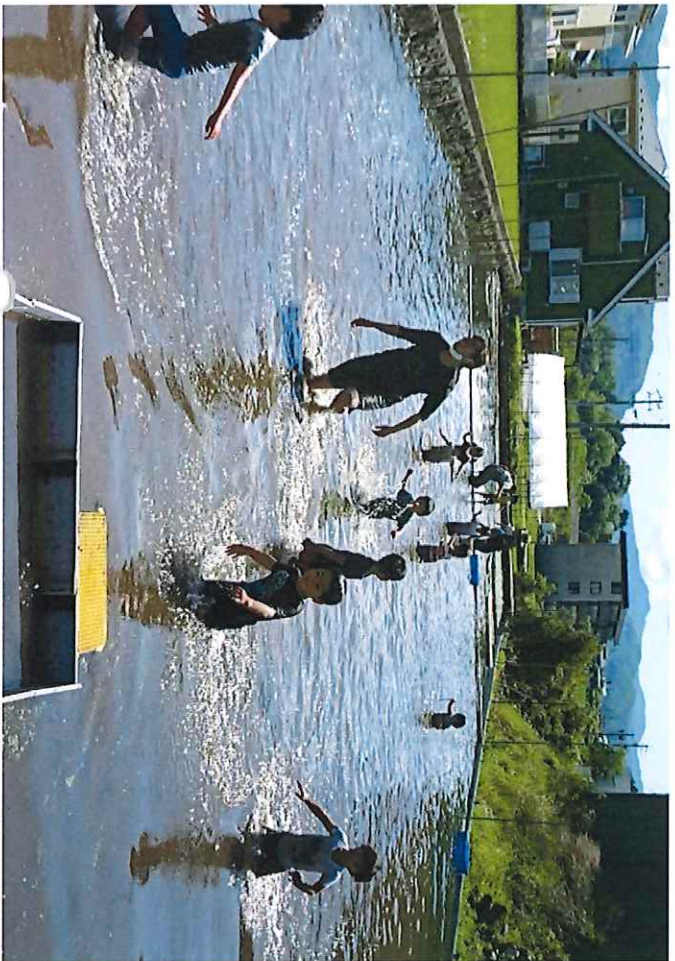
今後の事業展開	令和4年度につきましては、事業を通じ多くの子供達に経験をして頂きます。 水田については、毎年環境整備が必要であり整備を行って参ります。 引き続き事業に参加者頂ける方へのお声がけを行い、地域子供たちへの積極的参加を実施して参ります。 令和4年度もチャレンジして参りますのでご指導頂けますようお願い申し上げます。
---------	--











フナ飼育で「生き物への関心高める」



「Sakukids」は、代表を務める佐久市岩村田の「森角建材店」の森角和士社長を中心に、PTAや佐久青年会議所など、森角さんのこれまでもらう」ことをねらい、森角さん建材店の生コン工場の隣で借りた水田で小フナの飼育

活動は昨年からはじめた。約3百坪の水田で小フナを飼育し、エサやりや周辺の草刈りなどを全員で作業している。暑さ対策で屋根付きの小屋も手作りし、メンバ―にとって週末の憩いの場にもなっている。初めて小フナの飼育に挑戦した昨年、収穫の際に全員で水田に入

つて小フナを網ですくおうとしたところ、まぐいかず、森角さんは「半分近くを死なせてしまった」と振り返る。そこで今年は、佐久市が行った講習会でしつかり学び、水の流

れの上流に向かっていくといった魚の習性を考

察した。

29日には、今年度初

の収穫作業を行った。

田の水を抜きながら、

フナが一定の場所に集

まるよう誘導する方法

を試したところ、たく

さんのフナが収穫で

き、大人たちは「今年

はうまくいきそう」と

大喜び。ただ、何より

楽しんだのはメンバ―

の子たちで、買った

たばかりのエサが

泥だらけになるのも気

にせず小フナと格

闘。森角さんは、そん

な子どもたちの姿に目

を細めながら、「小フ

ナは佐久の味覚の一ツ

サクキッズ

「Sakukids」応援隊

である甘露煮にするが、子どもたちにも味わってもらって、「佐久の食文化」も知ってもらいたい」と話していただいた。同隊はあさって5日(土)と12日(日)に、飼育する水田で小フナの直売を行う。時間は午前9時から正午頃まで。雨天の場合は岩村田本町商店街内の「おいでなん処」に会場を変更する。予約を受け付け中。問い合わせは同隊(電話090・153・8559)主なメンバ―は次の皆さん。

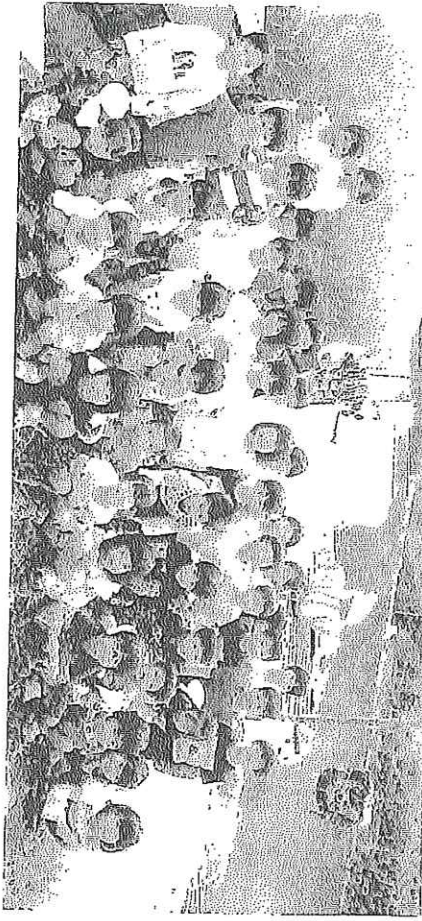
森角和士	小林由幸
矢作雅之	中山輝一
櫻井伸一	櫻井聡美
小山里美	柳沢臣孝
中村雅英	中沢陽治郎

小雀保育園児の手作りかし

フナ飼育の水田に登場

Sakukids 応援隊が呼び掛け

佐久市岩村田の「森角建
材店」社長の森角和士さん
を中心に有志で作る「Sa
kukids 応援隊」が小
フナを育てる田に、佐久市
岩村田の小雀保育園（小林
千恵子園長）の園児手作り
のかかしが登場した。
小フナがササなどの鳥に
食べられてしまう被害を防
ぐため、森角さんが同園に
話をもちかけた。小林園長
は「かかし自体を知らな
い子もいる中でとてもあり
がたい」と話す。かかしを
作ったのは年長園児 46 人
で、園の音楽会で発表した
「エルマーと竜」がモチーフ
の園児を 4 グループに分
け、物語に登場するキヤラ
クタ 14 体を作った。
小フナは佐久の秋の味覚
として有名な、森角さん
は、「生き物を育てる大切
さを知ってもらおうと同時
に、佐久の食文化について
関心を持ってほしい」とい
い、「とても立派なかかし
ができた。家庭で両親にこ
の話をしてもえたらうれ
しい」と話していた。
小フナは今週末から収穫
をはじめ、9 月 5 日（日）
と 12 日（日）に同水田で直
売する。雨天時は岩村田の
「おいでなん処」。時間は午
前 9 時から正午まで。数量
限定。予約など問い合わせ
は同応援隊（電話 090・
4153・8559）。



あなたにほほえみを



COCONET
長野県東御市常田588 ☎0268-64-5050
株式会社 ココネット

佐久第一SS 小 諸 南SS
佐久第二SS 小 田 井SS

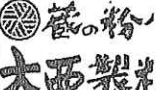
INPEX

株式会社 小田井SS
〒385-0051 佐久市中込1-28-16
TEL 0267・62・4523 (代)
http://www.kiuchisekiyu.co.jp/

佐久新聞

発行/佐久市民新聞/小諸市御影新田 2666-8 / 購読料月 880円
毎週金曜日発行/電話 68-2312 / FAX 23-5665 / 姉妹紙 小諸新聞
e-mail: knews@komoronews.co.jp http://www.komoronews.co.jp

信州・小諸
信州后白ひも

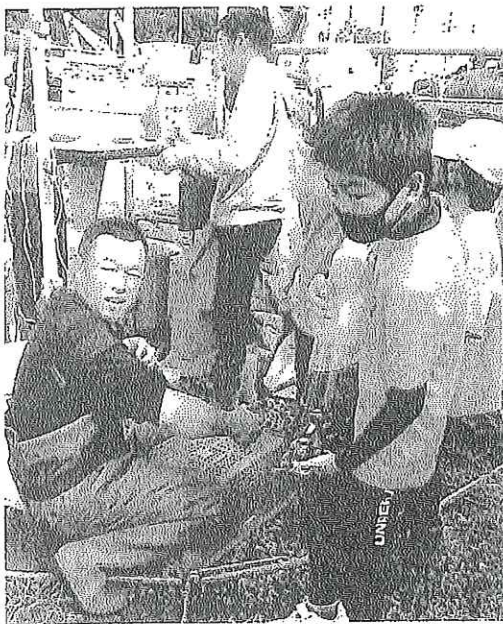


大西製米

0267-64-0120-57

佐久市岩村田の水田で小ブナを育ててきた有志グループ「Sakukids」が今、佐久の秋の味覚を買い求めた。

Sakukids 応援隊 秋の味覚「小ブナ」販売



メンバーの子どもたちも、楽しみながら作業をお手伝い

子どもたちに生き物に対する関心を高めてもらおうと、昨年から始めた取り組み。昨年は収穫時に半分ほど死なせてしまったが、今年は収穫方法を学び、昨年は大きく上回る収穫量を得た。直売は原則予約制で行ったが、遠くは長野市や新潟県からわざわざ足を運んだ人もいて、メンバーを驚かせた。

森角さんは、「小ブナの飼育販売で採算を取るのには難しい。佐久の食文化ではあるが、生産者が減ってしまっ

ている現状も理解できると話しつつ、メンバーの子どもたちが楽しんでいっているように、う姿に目を細め、「この姿が見られるからやっています。うすね」。

すみれぐみだより

2021.8.31
こすめいはいくえん

フナの養殖所に行ってきました!!



前回のどんこ体験に続き、子どもたちの為に時間を設けて下さり、森角さんありがとうございました!!



フナはどろも かしこいよ!!
にびてしまわないうに そーとそーと
フナを見てみようね!

水の車輪がどきどきしている
戸をよーく見てみよう!

おたはやくし
みだいにー

皆ち、いろいろお話を食べながら、フナにたくさん
アートをしよう!



そと迎えて、静かにしていると、こどもはに集まってきました!!



森角さん

出発前の子どもたち

「やえ食べな?」「棒にさして!!」と言ってる
いいえどうです。「じゃあ...フナをさす?」と笑って

「フナの赤ちゃんどくくらい大きくなってます?」「このくらい!!(20~30cm)」

「それさ、食べたいね〜!!」

先日のニジマス体験がとっても印象的だったので...
そこで、田んぼ、どんこ体験のことももう一度思い出して、目に見えぬくらいに大きくなった
フナの卵のこと、小さな赤ちゃん、赤ちゃんのつめぐらのフナのことを石を石を思い浮かべてあげました。

田んぼには



しばらくみさん、刀作のイラストリョウのかわかしが
フナを守っています。1日に2kgも鳥に食べ
られてしまうこともあるとの話から、「だから
こうやって(両手広げて)だま、してさんだね」
と子どもたち(ふり)に納得しています。

森角さんのフナは金色!!



おたはやくし
みだいにー

子どもたちへも、お話をきかせてあげよう!!
大きく育てよう!!とお話して下さいます。

フナは 2cm ~ 4cm 程度とサイズは様々でした。

フナにも性格があり、よく食べるフナ、小食のフナと
いるようです。右のふに、少し園へも持ち帰りさせて
頂きました。「とても系統系、おのづから、そと見ると
だま、と敬愛ももらい、お部屋にすま、こに置いて
大切にしています。

森角さんにお話を...と思いつき、感想をお寄せ下さい。

